

特定非営利活動法人 日本免疫学会
平成25年度前期 **Tadamitsu Kishimoto International Travel Award**
研究発表報告書

申請者氏名	朴雪花	会員番号	0032550
申請者の 所属・職名	順天堂大学大学院医科研科	免疫学	大学院生
出席会議名	14th International TNF Conference		
発表論文 タイトル	c-FLIP Maintains Tissue Homeostasis by Preventing Apoptosis and Programmed Necrosis		

実施結果:

第14回国際TNF学会(14th International TNF Conference)は、2年ごとに開催する会であり、2013年6月7日から6月10日までカナダのケベックで開催されました。この時期のケベックは30度超えること無く、涼しくて非常に快適でした。ケベック街の雰囲気は、ヨーロッパ調で、夏フェスティバル期間中で夜遅くまで町の中はにぎやかでした。

本大会は大規模ではないが、重点的にTNF superfamily, relating molecular pathways to physiology and pathophysiology in cancer biology, tissue homeostasisなどについて討論が行われ、私の研究テーマ関連内容で短時間に有用な知識を得るいい機会でした。

一日目はTNF superfamilyと健康、疾病関係について3つの演題が口頭発表されました。ここではリンホトキシンとB細胞の免疫反応に関する内容でした。二日目は病的分子経路、生理的分子経路、細胞死の分子経路、ガンの最新免疫治療法について発表が行われました。三日目は組織ホメオスタシスregulationとremodeling, 適応免疫と自己免疫疾患の臨床のターゲットについて発表が行われました。四日目は粘膜免疫応答に関する内容でした。

発表者はほとんど先生の方やポスドックの方で、高いレベルの質問及びディスカッションが行われました。私は初めての国際学会の参加で『c-FLIP Maintains Tissue Homeostasis by Preventing Apoptosis and Programmed Necrosis』という演題でポスター発表させて頂きました。英語が得意ではない上に緊張で練習を重ねたにも関わらず満足いく交流ができませんでした。本学会で受けた刺激を忘れずに日々努力して行きたいと思えます。

今回の学会への参加にあたり交通費及び参加費をサポートして頂いて深く感謝致します。